

## cobas<sup>®</sup> 4800システム CT/NG うがい液検体の採取方法

### 検体採取に必要なもの



■うがい用容器 ■生理食塩水

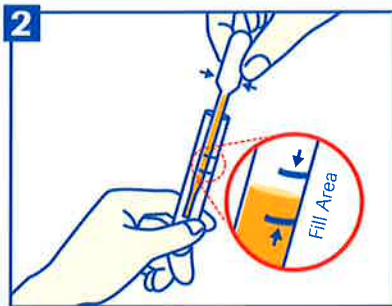
### うがい液検体の採り方



#### うがいの仕方

生理食塩水（日局方など）をコップに15～20mL入れてください。  
生理食塩水15～20mLを口に含み、顔を上に向けて10～20秒間、勢いよく“ガラガラ”とうがいを行います。

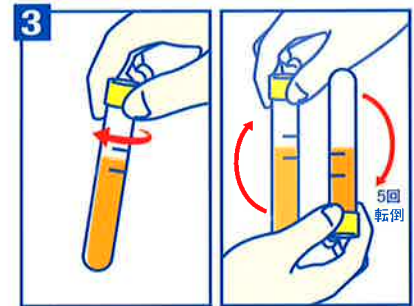
**注意** 口に含んで吐き出した液とうがい用容器に残した液を混ぜてうがい液とします。



#### 検体輸送液への懸濁

うがい液全量をうがい用容器に回収し、スポイトでコバスPCRメディア（尿・うがい用）に必要量添加します。

**注意** うがい液はコバスPCRメディアに記載されている2つのラインの間に収まるように加えてください。



#### 検体容器の保管

PCRメディアの蓋をしっかりと閉めてください。  
PCRメディアを5回転倒混和させてください。

# cobas<sup>®</sup> 4800システム CT/NG

## うがい液検体の採取方法

### ■ 検体採取容器外観



この間に収まる様に検体を  
添加してください。

コバスPCRメディア

### ■ 検体採取上の注意

- うがい液はコバスPCRメディアに記載されている2つのラインの間に収まるように加えてください。
- 検体に大量の血液が混入した場合は正しい結果が得られない事があります。

うがい液検体を保存したコバスPCRメディアは2~30℃で12ヶ月安定です。

うがい液をPCRメディアに入れない場合は2~8℃で輸送してください。

採取から10日以内にコバスPCRメディアに入れてください。

### ■ 一般的な注意

- 検体採取前の食事・うがい・歯磨き・ガムを噛むことなどは避けてください。
- コバスPCRメディアは絶対に凍結させないでください。
- コバスPCRメディアは塩酸グアニジンを含みます。誤って皮膚、目及び粘膜に付着した場合には、直ちに大量の水で洗い流してください。必要があれば医師の手当てなどを受けてください。
- コバスPCRメディアの溶液をこぼした場合には、必ず水で希釈してから拭き取ってください。